

がん治療のプロになりませんか?!

ー北東北4大学でがん治療専門医療人を育成しますー



北東北がんプロフェッショナル養成
プラン秋田大学事務局・
秋田大学医学部大学院医学系研究科
学務委員長

羽瀨友則

■はじめに～秋田県のがん診療は素晴らしい?～

秋田県を代表格(?)として北東北3県はがんの死亡率が高い、との我々秋田の医療人にとっては大変光栄な報道を一部のマスコミにも取り上げられ、注目されてから久しい。がんの死亡率が高い原因には様々な要因があり、その原因は複雑で対策は簡単なものではないことは明らかなのに“秋田のがん医療は劣悪”と単純なレッテルを一時貼られてしまったような気がします。(マスコミは概して複雑で困難な問題をレッテル化し、単純で扇情的なキャンペーンを張るのが得意ですが、ネタにされた人たちはたまりません。)

その後、秋田テレビなどの大変有り難い理解ある報道特集番組や“秋田のがん医療は全国レベル”との周知活動でやや“劣悪レッテル貼り”から解放された感がありますが、秋田県のがん死亡率では全国でトップクラスであることに変わりはなく、何らかの対策は必要でしょう。

厚生労働省を中心として平成19年4月より『がん対策基本法』が施行されました。これはがん対策全般にわたるもので、がんの予防、検診、登録、緩和から研究まで、“何でもがんばりなさい”、という“幕の内弁当状態”の内容です。

いっぽう文部科学省からも“がん対策”を念頭に、新たな企画が立てられました。それが『がんプロフェッショナル養成プラン』です。その最大目的は“人の育成”であり、趣旨は“がん医療に習熟した医師、薬剤師、看護師、その他の医療技術者などががん専門医療人を大学が中心となって養成し、その実践的教育は大学院と大学病院だけでなく関連協力病院でも行う”というものです。配分予算の少なさや期間が短いなど難点もありますが、“人の育成”にお金をかけるということ自体は悪いことではないと思います。

この文部科学省『がんプロフェッショナル養成プラン』の公募に対して、秋田大学が“まとめ役”となり、北東北の弘前大学、岩手医科大学、岩手県立大学の4大学が共同で申請し、選定されたのが、『北東北における総合的がん専門医療人の養成』というプランです。

■北東北がんプロフェッショナル養成プラン『北東北における総合的がん専門医療人の養成』とは

このプランは北東北の3医学系研究科と1看護学研究科が中心となり、がん専門医療人を育成する企画を立て、地域中核医療機関との連携、情報ネットワークの活用、北東北のがん登録の統一、がん診療の精度管理を行うカンファレンスの実施等により、医療過疎地域を多く抱える北東北地域において総合的がん専門医療人を養成するものです。

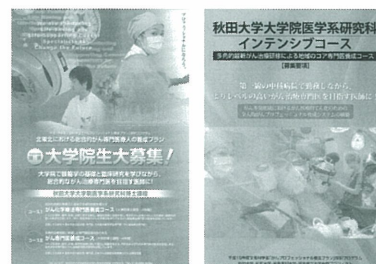
各研究科とも、化学療法、放射線療法、緩和ケアの3コースと臓器別がんの横断的カリキュラムを組み合わせ、大学・関係機関の広域的な協力、地域医療機関の連携、国内や海外研修等を充実させます。『がん専門医療人』とは医師だけでなく、薬剤師、看護師、その他の医療技術者も含まれます。

昨年には4大学で授業互換や教育・癌診療の情報交換などで協力することに合意・調印し、本年度から4大学間ではネットで結び授業や会議を配信し、授業の互換認定も行います。またこの2月には『北東北がん治療カンファレンス』『FDワークショップ』などを開催し、多くの参加者を集めることができました。

秋田大学では、大学院生を対象にがん専門医としてトップレベルの技術と知識を習得できるよう、『がん治療専門医養成系』の授業を充実し、授業は4大学にリアルタイムで配信するとともに、DVDで保存し、希望者があれば配布できるようにします。また『がん治療専門医養成系』の講義室には臨床病理カンファレンスなどにも対応できるよう、最新の顕微鏡プレゼンテーションシステムを導入しました。もちろんPCや図書も充実させましたので、『北東北がんプロ』の大学院生には豊かな学習環境を提供できると思います。

秋田大学では今年8名の新大学院生がこの『北東北がんプロフェッショナル養成プラン』に登録していただき、がん治療の専門医を目指すとともに、がんの研究を進め、世界に誇れる成果を発信してくれると信じています。同時に秋田大学保健学科でも本プランの1つとして、『がん専門看護師養成コース』の設立に向けて準備を進めています。また特徴あるコースとして、弘前大学や岩手医科大学では『がん専門薬剤師養成コース』、弘前大学の『医学物理士養成コース』、岩手県立大学では『がん専門看護師養成コース』が設置されています。興味のある方は小生や事務局までご相談ください。

最後に秋田県内の中核病院で働く医師でがん治療専門医を目指す方にも、がん薬物療法専門医やがん治療認定医の資格獲得を目指すコースも設置しました。このほうもパンフレットなどを作成し、コース受講者を募集しています。



■さらに飛躍する秋田県のがん医療に向けて

“物を買う予算はあるが、買った物をメンテナンスするヒトがいない”、“ハコモノは作ったが働くヒトがいない”、という現象は日本の典型的お金の使い方だと思います。ヒトを育てるには膨大なお金とエネルギーが必要なことに気づいておられない役人の方が多いのもこの国の特徴かもしれません。本当は国を挙げて看護師やコメディカルを倍増して働く場を保障しないとがん治療専門医だけ少々増えても...と思うのですが、positiveに考えると、がん治療専門医療人を少ないながらも増やそうという企画が『がんプロフェッショナル養成プラン』です。是非、秋田から北東北、日本、世界に誇れるがん診療に向けて『北東北がんプロ』への多くの方々の参加とご協力をお願いします。

というわけで、『貴方も“がん治療のプロ”になりませんか?!』(我々のホームページ=<http://www.ganpro-kitatohoku.jp/>)